

人間社会学部の教育理念・目的

人間社会学部は、言語文化、人間科学、社会福祉の分野における、現代的・国際的観点に立った幅広い教養、専門的知識および技能を修得することにより、人間と社会の諸問題を的確に理解し、創造的にその解決を図る能力を育むとともに、高度な発信能力を備え、人間性を尊重した文化や社会の発展に貢献できる人間を育成する。

人間社会学部の教育目標

1. 人文・社会科学および自然科学に関する幅広い教養を身に付けさせ、公正で多角的な視点から物事を考えるための素地をつくる。
2. 現代の国際社会・地域社会が直面する諸問題に関する認識を培い、その解決に向けた課題意識を養う。
3. 日本語および外国語による文献の読解およびコミュニケーション技能を身に付けさせることにより、国際的な舞台で円滑なコミュニケーションを行なうための基礎的な能力を養う。
4. 情報処理に関する基本的技能、およびデータ解析の理論と実践に関する知識を身に付けさせることにより、自らの考えを客観的データにより検証する能力を養う。
5. 言語文化、人間科学、社会福祉の分野における基礎的知識を身に付けさせることで、人間社会の一員としての問題意識を育み、学問体系の中でそれをどのように探求し、解決すべきかを考える力を養う。
6. 言語文化、人間科学、社会福祉の分野における高度に専門的な知の達成とその応用についての理解を培うことで、さらなる探求を必要とする課題について議論、考察する能力を養う。
7. ゼミ形式の授業により、自ら体系的に資料を収集しまとめ上げ、さらに他者との討論によりアイデアを洗練していく能力を養う。加えて、自らの考えを分かりやすく他者に提示するプレゼンテーション能力を養う。
8. 卒業論文の作成を通して、専門領域における方法論に裏打ちされた応用力を身に付けさせるとともに、自らの考えを論理的な文章として構成する能力を養う。

人間社会学研究科の教育理念・目的（博士前期課程）

研究科博士前期課程は、学部における専門の基礎をさらに確固たるものとしつつ、より見識を広げ方法論を深化させ、人文社会諸科学の知識を活かして多方面で社会に寄与できる人材を育成する。

人間社会学研究科の教育目標（博士前期課程）

1. 学生の研究課題にふさわしい指導教員を配置することで、各自が必要な知識・技術を習得し、専門的な研究を行なうことを可能にする。
2. 言語文化、人間科学、社会福祉の領域における課題群のなかから、重要で先端的なトピックに焦点をあてて考察することで、学術的・専門的な研究方法を習得させる。同時に、これまでに蓄積されてきた主要な研究成果を批判的に検討する能力を養う。
3. 各自の研究課題、ならびに関連の課題について、データ・資料を体系的に収集する方法、収集したものを分析・検討する理論と方法、その分析・検討した結果を包括的・総合的知見をもって考察する方法を、演習を通じて習得させる。
4. 各分野の専門的追究を進めながらも、隣接分野の知見を積極的に吸収し、自分の専門分野の研究に生かすことを奨励する。このために、いずれの専門分野においても他分野の講義科目を履修できるよう配慮する。また、必要に応じて他専攻の科目の履修も奨励し、履修に配慮していく。
5. 修士論文の作成を通して、これまでの先行研究を批判的に検討しつつ、自らの独自の研究成果を、論理的に構成・展開し、表現する能力を養成する。

人間社会学研究科の教育理念・目的（博士後期課程）

博士後期課程は、専門知識のさらなる深化・発展をはかるとともにより研究活動に重点をおいた教育を行い、普遍的価値のある新しい問題を解明し、専門分野の学問的発展と現代的課題の解決に寄与しうる自立した人材を育成する。

人間社会学研究科の教育目標（博士後期課程）

1. 学生の研究課題にふさわしい指導教員を配置することで、各自が必要な知識・技術を習得し、高度に専門的な研究を行なうことを可能にする。
2. 言語文化、人間科学、社会福祉の領域における課題群のなかから、重要で先端的なトピックに焦点をあてて詳細に考察することで、高度に学術的・専門的な研究方法を習得させる。同時に、これまでに蓄積されてきた主要な研究成果を批判的に検討する能力を養い、さらにはその検討を言語化する力を育成する。
3. 各自の研究課題について、隣接・関連領域の研究成果も視野に入れながら、データ・資料を体系的に収集し、それを論理的に分析・検討し、その結果を包括的・総合的知見をもってあるべき文脈に位置づけ、さらには新しい知的展望を提示することを促すことにより、学術研究に必要な研究遂行能力を育成する。
4. 学会発表、および学術雑誌における論文の発表を促すことにより、自らの研究成果を第三者に対して説明・提示する能力を充実させる。
5. 博士論文の作成を通して、これまでの先行研究を批判的に検討しつつ、自らの独自の研究成果を、論理的に構成・展開し、表現する能力をさらに発展させる。